

第4回宗像市地域公共交通会議 会議録

日 時	平成29年3月29日（月） 14時30分～15時20分
場 所	市役所本館第2委員会室
出席者	<p>【委員】石松豊幸、大枝良直、西正博（代理：河津隆幸）、福澤好展、森正彦、児嶋二三生、黒川貞一郎、飛鷹修、関野成人、早川正史、宮地信裕、原田勝子、平田恵美</p> <p>【オブザーバー】堺裕之（福岡県）</p> <p>【事務局】吉原課長、貞光、松山</p>
報告事項	<p>1) 無料乗車キャンペーンの結果について</p> <p>2) バス利用者アンケートの結果について</p> <p>3) ふれあいバス・コミュニティバスの改定について</p>
議 題	1) 平成29年度の取り組み内容と宗像市公共交通会議の開催について
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの新車両について ・ふれあいバス「サンリブ」バス停の時刻盤の見直しについて ・全国豊かな海づくり大会のPRについて ・次回の開催日程について

区分	発言内容等
会長	開会あいさつ 前回会議録の確認（承認）
事務局	1) 無料乗車キャンペーンの結果について 乗車実績は459人。平成28年度の乗車実績の1日当たりの平均が約500人。2年前の実績899人。今回、取り組んだところ効果が出てない。他の自治体でも無料乗車キャンペーンから別の取組みに切り替えており、今回の結果と踏まえまして、次年度は無料乗車キャンペーンにかわるPRの方法がないかというところ検討したい。
会長	無料乗車キャンペーンについて、質疑等はないか。
運輸支局	今回の実績が対前々年度と比較して2分の1程度になった原因を検証されていれば教えてほしい。
事務局	2年前はPRチラシを全戸配布し周知したが、今回は市の広報への掲載と地域の回覧という方法を取った。PR方法の違いによる影響が考えられる。
福澤委員	無料乗車キャンペーンは無料なので1度乗ってみたいというのはあっても、継続的な利用につながらない。何か大きな催し物とかにバスに乗ってくるといったキャンペーンに切りかえた方が良いのではないかということをお話している。
平田委員	福澤委員と一緒に、何かにタイアップしないと伸びないと感じる。くりえいと祭りは大きなイベントなのでそれに合わせるなどすれば、バスを使って行ってみようかなという気持ちにもなるかと思う。
会長	この件については、来年度の公共交通会議で十分協議を行いながら、次年度の内容を決定していきたい。くりえいとは、ほとんどの路線が乗り入れているという点からも、くりえいと祭りでの利用増につながるのではないかという意見であった。参考にしながら次年度の協議事項とし、以上で終了する。

事務局	<p>2) バス利用者アンケートの結果について ふれあいバス利用者 439 件、コミュニティバス利用者 111 件の回答あり。 利用目的は「買い物」最も多く半数以上である。 また、ふれあいバス、コミュニティバスともに「満足していない」割合が前年度比で若干増加している。その理由は「便が少ない」、「時間がかかる」、「利用したい時間に合わない」がほとんどを占めており、現在運用しているバスの台数等を考えると、なかなか改善につなげるには難しいところがある。 なお、バス停設置に関する不満に対しては、地区コミュニティ運営協議会との協議を経て一部解消できている。</p>
会長	<p>ふれあいバス及びコミュニティバスのアンケート結果について、質疑等はないか。 (質疑なし) 以上で終了する。</p>
事務局	<p>3) ふれあいバス・コミュニティバスの改定について 前回会議までの協議結果を反映した改定時刻表を配付した。平成 29 年 4 月 1 日から運行を開始する。</p>
会長	<p>ふれあいバス・コミュニティバスの改定について、質疑等はないか。 (質疑なし) 以上で終了する。</p>
事務局	<p>議題 1) 平成 29 年度の取り組み内容と宗像市公共交通会議の開催について 平成 29 年度 3 回の会議開催 (7 月・12 月・2 月) を予定。 各段階で取組内容の検討をお願いする。</p>
会長	<p>宗像市公共交通会議の開催について、質疑等はないか。</p>
黒川委員	<p>日の里まつりで無料バスを運行できないか。</p>
事務局	<p>イベントに合わせて公共交通の利用促進を図る意味では有効と考えるが、本来なら有償でイベント時に使ってもらうのがベスト。いろいろなご意見をいただき PR 方法を検討していただきたい。</p>
原田委員	<p>各地区でも実施は可能か。</p>
事務局	<p>基本は有償バスなので、それをイベント時に使ってもらえるというのが基本と考える。無料とすることについてはこの公共交通会議の場で協議した結果によっては可能だとは思いますが、公共交通全体を考えた時に無料が良いかどうかというところから審議していただかなければならない。</p>
平田委員	<p>各地区でイベントの取り組み方も異なり、運輸局の許可や西鉄バスへの影響も考える必要があるので、そこらを検討していくのが良いのではないかと。</p>
飛鷹委員	<p>赤間地区では赤間宿まつりにコミュニティバスの時間は合わない。また、来訪者数から見ても難しい。各地区のイベントは各地区の費用負担でやらないと。 運行経費の多額な赤字を補填している状況の中で、市全体のイベントを無料バスでというのはちょっと合わない。一層負担が増えると思う。</p>
会長	<p>運輸支局から何かないか。</p>
西委員 代理：河津	<p>無料のバスというものはなく、利用者がお金を払わないというだけで、利用者の負担を自治体が事業者に払うということ。 無料バスを各自治体で実施しているが、あくまでも、コミュニティバスに乗ったことがない人への動機付けとしてやろうという部分が目的で、市全体の何か催し物に来るために、自家用車を利用せずにバスを利用しませんかという動機付けとしてやるというもの。それを、宗像市がどういうふうに使っていくかはこの会議の中で議論していくことになるが、利用促進事業の中で定義されている無料バスとはそういうものだということを説明しておく。</p>

会長	利用促進についてはたくさんの意見をいただいた。今後、この会議の場でどういったPR方法でどういった方々にコミュニティバス、ふれあいバスに乗っていただけるのか大きな視点で議論を重ねていきたい。
事務局	その他、3点について報告。
関野委員	自由ヶ丘地区は高低差があつて、坂道等でバス停まで往復するのが大変だという状況にあり、デマンド型のふれあいタクシーを導入したいと考えている。 また、メイトムやユリックスへの交通手段もないということもあり、総合的に自由ヶ丘地区として検討していきたいと思っている。
会長	議事の項目以外のいろんな発言が出ているが、それも含め他にないか。 (発言なし)
事務局	次回の会議日程については会議の時期が近づいた時点で調整する。 (終了)